

ソリューションの概要： 財務チームによるリーダーシップの発揮

財務チームがセルフサービス型の完全なデータ分析ソリューションを
活用するためにIT部門ができること

Copyright © 2021, Oracle and/or its affiliates
公開

はじめに

財務チームにとって、財務実績を報告してプロセスを効率化するだけで十分な時代は終わりました。[ESGのある調査](#)では、財務組織が社内の「現状」を報告することから、その「原因」に目を向けるよう変革することが不可避であると答えた回答者は85 %に上りました。財務リーダーに期待されているのは、経営陣からの新たな質問に日々答え、ビジネス戦略を導くことです。このため、CFOの最優先事項が先進のデータ分析テクノロジーであるという[Gartner](#)の調査結果は驚くにはあたりません。

[Deloitte](#)によると「企業戦略の推進に財務が与える影響が大きくなるにつれ、CFOは最高分析責任者という独特な立場に置かれている」一方で、CFOは、ほかの何よりもスプレッドシートの精査に時間をかけており、平均で1日あたり2.24時間も費やしています。財務チームは、さまざまなソースに異なる形式で格納され増える一方のデータセットを、信頼できる唯一の情報源へと集約することで、他部門へ実用的なインサイトを提供するという重大な課題に直面しています

ITチームにとって、このようなニーズは、財務アナリストからの複雑で時間のかかる要求がさらに増加するという結果を意味します。

本書では、データ・ガバナンスとセキュリティを確保し、多大な時間と労力を節約しながら、すばやい決断に必要となる信頼できるデータドリブンな詳細インサイトを財務チームが取得できるようにするために、IT部門がどのように貢献できるかをレビューします。

コストを削減しながらイノベーションと成長を推進するためのリアルタイム・インサイト

ここからは、財務チームがオラクルのソリューションを利用することで、飛躍的にデータ分析プロセスを改善すると同時に大幅なコスト削減に成功したお客様事例について検討しましょう。

[Dou Yue](#)は中国各地で30のレストランを経営しており、店内および持ち帰りでの伝統的中國料理の提供に尽力しています。Dou Yueのレガシー・データ・プラットフォームはいくつかに切り離されており、同社が必要とした包括的なリアルタイム・インサイトの取得を妨げていました。経営陣は、さまざまなシステムからスプレッドシートをエクスポートし、手作業で結果を計算して集計するというエラーの発生しやすい時代遅れのプロセスを余儀なくされており、1つのビューでビジネスの全体像を把握したいと希望していました。

Dou Yueは、[Oracle Autonomous Database for analytics and data warehousing](#)と[Oracle Analytics Cloud](#)をOracle Cloud Infrastructureにデプロイすることで、複数のビジネス・システムのデータをクラウドベースの単一プラットフォームに統合しました。現在、財務チームは収益、在庫、その他のデータを店舗別に抽出し、経営陣がこれに基づいて行動できるようにしています。たとえば、ある店舗が収益の下落を登録すると、経営陣は環境条件（交通量、天候）と販売モデル（店内または持ち帰り）に加えて、店舗のある地域のメニューおよび料金を分析して根本原因を特定し、戦略を調整することができます。Dou Yueはトレンド履歴やリピート消費、その他のデータを分析することで、顧客が好む料理を把握してタイムリーに調整（または新たに開発）できるようになりました。また、どの商業ビルがもっとも持ち帰り注文が多い傾向にあるのかを特定して、マーケティング・キャンペーンの的を絞ったり、将来的な店舗の立地を決めたりできます。以前は、2〜3人のフルタイム・スタッフが数時間かけて手作業でレポートを作成していましたが、オラクルのソリューションにより、ワンクリックでレポートが生成されるので、ビジネス上の意思決定が飛躍的に改善され、人件費も削減できます。

[Data Intensity](#)の財務チームは、システムからデータを取得するだけのために60 %の時間を費やしていました。今では、Autonomous Database for analytics and data warehousingを使用して数秒以内に200ものレポートを実行できます。このソリューションの価値を証明するように、システムにアクセスするユーザー数が10倍に増え、さらにその価値を高めています。また、同社はコストを30 %削減しました。CTOを務めるJames Anthony氏は次のように述べています。「弊社のCFOは大変喜んでいますが、以前は役員会に出席しながらデータを取得することはできませんでした。今ではその場ですぐ簡単に取得できます」

運輸ネットワーク企業のLyftは、交通の将来像を作り変えようと奔走していました。同社は高成長スタートアップから毎年何十億ものトランザクションを処理する上場企業へと発展を遂げましたが、その舞台裏では財務システムが成長に追いついていませんでした。Lyftは、統合されたOracle Fusion Applicationsとデータ分析ソリューションを採用しました。Lyftの財務ソリューション担当ディレクターのJay Weiland氏は、次のようにコメントしています。「夜中にプロセスを実行している場合、正確に何分かかるかはわかりません。Autonomous Databaseの自動スケーラーは自動的にCPU数を増減してくれるので、アイドル時間のコストを支払う必要はありません。これは財務チームにとって非常に魅力的です」

[Arlington Orthopedic Specialists](#)は規制の変更に直面し、損失を回避するためのより詳細な業務分析を求めていました。Autonomous DatabaseとOracle Analytics Cloudがあれば、詳細な財務シナリオを即座に可視化できるので、同社は保険会社と適切な料金を交渉し、その節約分を患者ケアの改善プログラムに割り当てることができます。回収金を増やし、売掛金回収期間を79日から22日へと短縮した同社は、18%の収益増加を達成しました。CFOのHoney Ranario氏は次のようにコメントしています。「Oracleシステムなしで同じ量と品質の分析を実現するなら、おそらくは財務アナリストを5〜6名雇う必要があるでしょう」

その他のお客事例を[見る](#)

セルフサービス型の完全なデータ分析ソリューション

オラクルが提供するセルフサービス型の完全なデータ分析ソリューションにより、財務チームは、すばやい意思決定に必要な信頼できるデータドリブンな詳細インサイトを速やかに取得できます。

事業部門とIT部門両方のニーズを満たす、管理されたセキュアなセルフサービス型ソリューション

セルフサービス型ソリューションにより、財務チームのメンバーは独自にデータをロードして変換し、ビジネス・モデルを構築し、機械学習を利用したインサイトを自動的に取得できます。管理されたセキュアなソリューションでリスクを削減できるだけでなく、ITチームは、シンプルで信頼できる繰返し可能なアプローチを利用して、財務チームからのデータ分析要求すべてに対応できます。

自動化による、ほかにはない業務の簡素化と生産性の向上

Autonomous Databaseは、データウェアハウスのプロビジョニング、構成、セキュリティ保護、パッチ適用、バックアップ、パフォーマンス・チューニング、修復をインテリジェントな方法で自動化します。これにより管理者の作業が最大90%削減され、財務チームが独自に運用できるようになるので、ITチームの貴重なリソースを解放できます。

包括的な組込みツール・スイートによるオールインワン・ソリューション

財務チームは、さまざまなソースに異なる形式で格納されたすべての必要なデータを1つのコンバージド・データベースにすばやく集約し、信頼できる唯一の情報源を中心としたセキュアなコラボレーションを推進することができます。アナリストはグラフや空間分析を使用し、機械学習モデルを構築して、ノーコード/ローコードの組込みツールを使用して自分で新規アプリケーションを作成できます。追加で購入、インストール、統合するものは何もありません。

柔軟な自動スケーリングによる一貫した高パフォーマンスとコスト削減

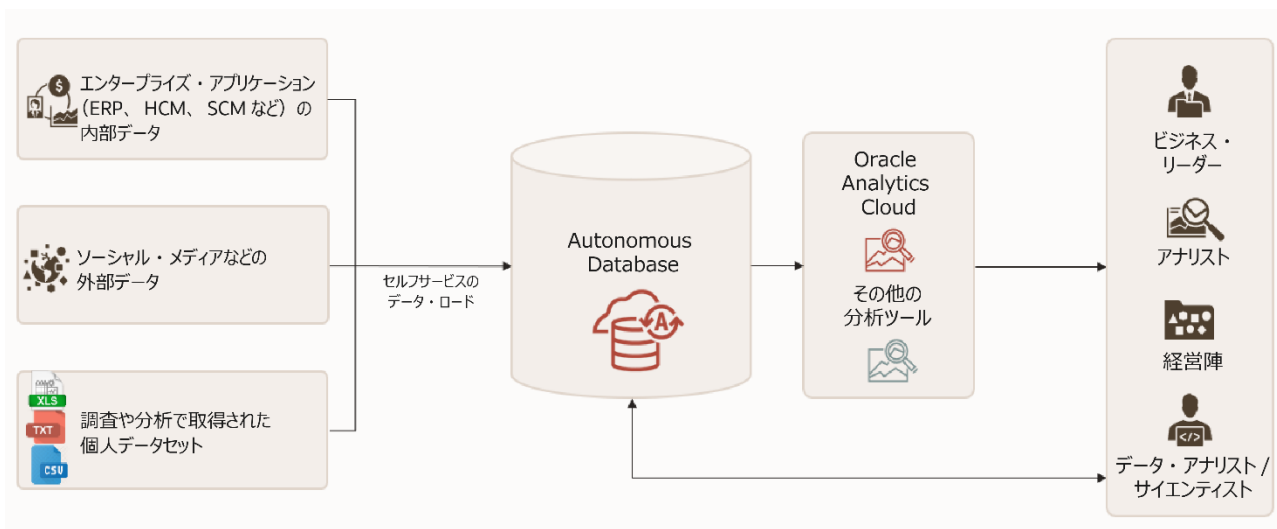
同時ユーザーが何人いようと、ピーク時を含めて常に高い問合せパフォーマンスを実現します。その他のクラウド・サービスとは異なり、Autonomous Databaseはサービスの実行を継続したままでスケーリングし、自動的なスケーリングによりパフォーマンスを維持できます。反対に、アクティビティの少ない期間中はコンピューティング・リソースを減らすか停止して、顧客のコストを削減できます。これらはすべてITによる介入なしに、最小限の介入で実現できます。

「たとえるなら、エンタープライズ・クラウド・データウェアハウス領域のiOSです」

Moor Insights & Strategy、創設者/プレジデント兼首席アナリスト
Patrick Moorhead氏

アーキテクチャとサービス内容

以下にソリューション・アーキテクチャを示します。



[Autonomous Database for analytics and data warehousing](#)には、さまざまなソースと形式のデータをすべて集約できます。唯一の完全で自律的なセルフサービス型クラウド・データウェアハウスとして、包括的な組込みツールのスイートを財務チームに提供します。

- データ・ツールでは、セルフサービス型のドラッグ・アンド・ドロップ操作でデータをロードして変換し、ビジネス・モデルを作成できます。財務アナリストが機械学習アルゴリズムを用いて、コーディングなしで自動的にインサイトを発見できるので、時間と手間を大幅に削減できます。
- 組込みグラフ分析では、財務アナリストがデータ・エンティティ間の関係とつながりを可視化できます。たとえば、あるプロジェクトに関連付けられたすべてのコストと人数を瞬時に表示したり、最適なサプライヤ関係を維持するために特定のサプライヤに関連付けられたすべての依存関係を理解したりできます。
- 組込み空間分析を使用すると、「悪天候が収益に影響を与えている地域はどこか」、「もっとも収益性の高い顧客がいるのはどこか」などの財務関連の質問にすばやく回答できます。
- 財務アナリストは、ビジネス・ユーザー向けのノーコード・インタフェースを使用して機械学習モデルを構築することで、支払いを怠る可能性の高い顧客、不正の可能性が高い取引、予測/履歴パターンに基づく期待収益など、想定される財務実績を予測することができます。
- ノーコードの組込み型 Oracle APEX 開発プラットフォームでは、財務チームが、非定型のニーズや ERP 対象外のギャップ/プロセスに対応するアプリケーションをすばやく開発できるので、IT プロジェクトの順番を待つ必要はありません。こういったアプリケーションには、臨時的買収のためのデータ・ルーム、デジタル・トランスフォーメーション活動の進捗追跡、COVID-19 関連アプリケーションなどがあります。

Autonomous Database に接続される [Oracle Analytics Cloud](#) は、AI を活用したセルフサービスの最新分析機能を通じて、ビジネス・ユーザーや経営陣が、データの準備、視覚化、企業レポート作成、拡張分析、自然言語処理/生成を実行できるようにします。また、Autonomous Database は、Tableau、Looker、Microsoft Power BI を含む [すべての一般的な分析ツールで動作保証されている](#)ので、顧客は好みのツールを自由に選択できます。

「データ・アナリスト、市民データ・サイエンティスト、ビジネス・ユーザーが、セルフサービス型のツールを使用して各自のデータセットを作成し、分析できるようにすることが、ITボトルネックを防ぎ、大幅な生産性の向上を実現します」

Omdia、チーフ・アナリスト
Bradley Shimmin氏

結論

財務リーダーは中核となる財務上の責任に加えて、ビジネス戦略を導いて他部門が目標を達成できるように支援するという独特な立場に置かれています。これらの目標を達成するためには、増え続ける膨大なデータから迅速かつ自主的にインサイトを取得できる能力が不可欠です。IT部門は、Autonomous Databaseを活用したオラクルの完全なセルフサービス型データ分析ソリューションを使って、ますます期待のかかるリーダーの役割を財務チームが効率的に果たせるようにすると同時に、リスクを低減し、ITおよびアナリストの生産性を引き上げることができます。

[詳細を確認して、さっそく始めましょう。](#)

Connect with us

+1.800.ORACLE1までご連絡いただくか、[oracle.com](https://www.oracle.com)をご覧ください。北米以外の地域では、[oracle.com/contact](https://www.oracle.com/contact)で最寄りの営業所をご確認いただけます。

 blogs.oracle.com

 facebook.com/oracle

 twitter.com/oracle

Copyright © 2021, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

本デバイスは、連邦通信委員会のルールに基づいた認可を未取得です。認可を受けるまでは、このデバイスの販売またはリースを提案することも、このデバイスを販売またはリースすることもありません。

OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴおよびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0120

免責事項：データシートにこの免責事項の記載が必要かどうか分からない場合は、収益認識方針を参照してください。本書の内容と免責事項の要件についてさらに質問がある場合は、REVREC_US@oracle.com宛てに電子メールでご連絡ください。